

健診で『からだの健康状態のチェックを!』



	(新)64列CT	(旧)16列CT
検出器の数(1度に撮影する画像の数)	64個	16個
撮影時間(胸腹部の場合)	約5秒	20~25秒
スライスの厚さ(輪切りの厚さ)	0.625mm	1.25mm
X線被ばく線量	少ない	多い

当院では、身体にやさしく、より精密な診断を実現するために、64列マルチスライスCTを導入いたしました。この機器の導入により検査精度が格段に向上了るだけでなく、息を止める負担やX線被ばく量の低減など、患者様の身体に負担が少なくより安全な検査体制を敷くことができました。

この新CTを用いた健診事業（①・③）を下記の通り実施しています。



以下の健診事業を『隨時受付、にて実施しています。

①国保及び後期高齢者の人間ドック

……自己負担 5,000円

②胃がん検診・胃内視鏡検査……自己負担 1,000円

③肺がん検診・胸部CT検査……自己負担 3,000円

※②と③は住民健診で胃がん・肺がん検診を行っていない方が対象です。

この機会に、『からだの健康状態のチェック』を、ぜひご利用ください。申し込み等、詳しくは久万高原町立病院事務局（☎21-1120）まで



一般病棟 看護師 上岡 慎也

病院リレーエッセイ

私は准看護師として松山の療養病院にて10年程勤めていました。そこで仕事をしながら看護学校に通う妻がつたんやけん、大丈夫よ!」といふ後押しの言葉に、看護師免許取得のため、2年制の通信制看護学校に入学することにしました。なぜ通信制へ入ったかというと、職場に迷惑をかけず、また生活のリズムを変えることなく、勉強ができると考えたからです。というのは妻への建前で、本音は教科書がiPadだったからです。そうです、私は勉強するという理由でiPadを手に入れたかったです。(そんなことも妻にはバレバレであり、妻はそれで勉強するならいと考へていたようです。妻おそるべし) まんまとiPadを手に入れた私は、勉強の合間に遊ぶつもりでいましたが、国家資格取得のための勉強というのはそんなに甘いものではありませんでした。勉強してはレポートを学校へ送り、評価・助言していただき、訂正して再提出の繰り返しでした。また、提出が1日でも遅れると単位取得ができず留年してしまいます。そんなハードスケジュールの中で、1年目に提出レポートの1つを出し忘れてしまったのです。その時は、「ああ、留年してしまった」と気持ちちは落ち込みま

した。でも担当していた先生の「尽きにより、翌年に提出することで留年を免れることができます。その後は家族の協力や、クラスメイトとの互いの連絡で、提出を忘れる事はありませんでした。そして無事進級することができます。2年目には臨床実習がはじまり、実習レポートに気持ちは折れそうになった時に支えてくれたのも、家族とクラスメイトでした。四苦八苦しながらも看護師試験にもギリギリではありますでしたが合格することができます。そんな私が看護師として久万高原町立病院で働き始めて3年目となりました。久万高原町に縁もゆかりもない私が働くきっかけとなつたのも看護学校で出会ったクラスメイトの「久万はええところやけん、働きにおいて」と声をかけてくれたことでした。出会いが人生を変えるといいますが、まさにそのとおりだと実感しています。これからも、たくさんの出会いがあると思いますが、そのひとつひとつを大切にしていきたいと思います。



因みにiPadは子どもに、とられてしまいました